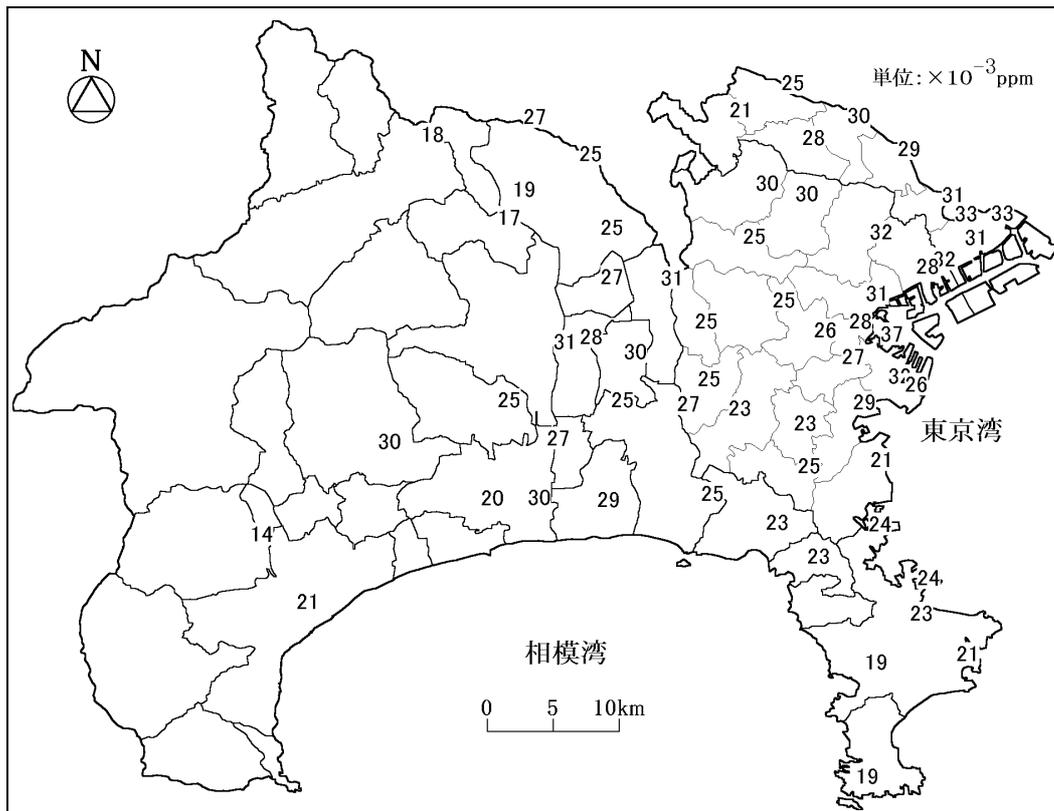


## 第 章 大気汚染物質濃度の状況

## 第1節 窒素酸化物 (NO<sub>x</sub>)

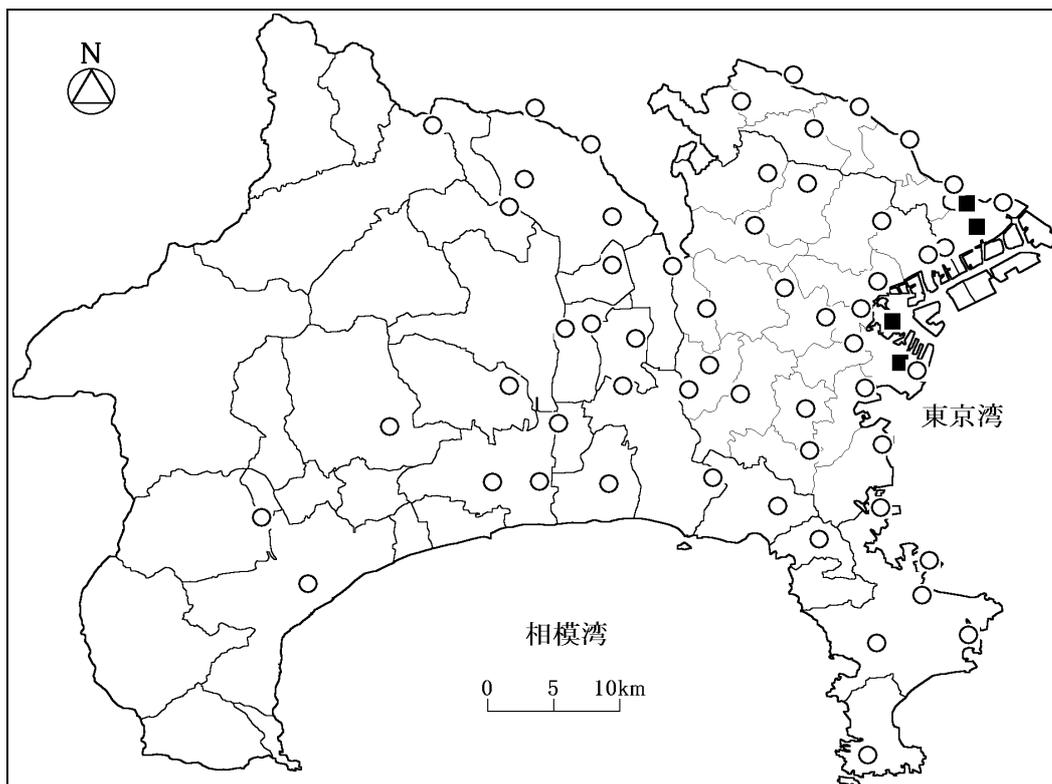
窒素酸化物	<p>大気中の窒素酸化物には、一酸化窒素 (NO)、二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) の他に亜酸化窒素 (N<sub>2</sub>O)、無水亜硝酸 (N<sub>2</sub>O<sub>3</sub>)、四酸化窒素 (N<sub>2</sub>O<sub>4</sub>)、無水硝酸 (N<sub>2</sub>O<sub>5</sub>) などがある。大気汚染常時監視項目としてNO<sub>2</sub>、NOが測定されている。ここでいうNO<sub>x</sub>とは、NOとNO<sub>2</sub>の合計とする。</p>
発生源	<p>都市部におけるNO<sub>x</sub>は、自然の大気中にも0.006ppm程度存在するが、ほとんどが物の燃焼過程から発生している。例えば、ボイラーの排ガスには20~300ppm、自動車排出ガスには10~1,000ppm (NO 90~99%, NO<sub>2</sub> 1~10%) のNO<sub>x</sub>が含まれている。</p> <p>主な発生源としては、工場などのばい煙発生施設や自動車の他に、硝酸製造、肥料製造、金属の酸洗浄施設などがある。</p>
環境濃度	<p>県内のNO<sub>2</sub>濃度は、年平均値の全局平均値で見ると、一般環境大気測定局、自動車排出ガス測定局ともに、長期的にはやや改善傾向にある。</p> <p>環境基準を達成した測定局は、一般環境大気測定局93.3%(60局中56局)、自動車排出ガス測定局61.3%(31局中19局)であり、いずれも平成13年度(一般環境大気測定局89.5%、自動車排出ガス測定局46.7%)に比べ改善しており、特に自動車排出ガス測定局で大幅に改善した。</p> <p>NO濃度の年平均値の推移を見ると、長期的にみて一般環境大気測定局、自動車排出ガス測定局ともに改善している。</p>
測定方法	<p>吸光光度法または化学発光法</p>
吸光光度法	<p>試料大気をザルツマン試薬吸収液に通じると、ジアゾ化反応が起こり、吸収液がNO<sub>2</sub>の量に比例して橙赤色に発色することを利用して、NO<sub>2</sub>濃度を測定する。NOは、酸化液(硫酸酸性過マンガン酸カリウム溶液)でNO<sub>2</sub>に変化させてからNO<sub>2</sub>と同様の方法で測定する。</p>
化学発光法	<p>試料大気にオゾンを反応させると、NOがNO<sub>2</sub>に酸化される。このうちの一部が励起した状態となるが、これが基底状態になるときに伴い光を発する。これを化学発光という。この化学発光の強度を測定することにより、試料大気中のNO濃度を測定する。一方、試料大気のコンバータに通じてNO<sub>2</sub>をNOに変換した上で化学発光の強度を測定し、試料大気中の窒素酸化物(NO+NO<sub>2</sub>)の濃度を求め、これらの測定値の差を求めることによってNO<sub>2</sub>濃度を測定する。</p>

1.1 NO<sub>2</sub>濃度の地域分布 (年平均値・環境基準達成状況)



上図の数値は、一般環境大気測定局におけるNO<sub>2</sub>の測定時間が年間6000時間以上ある測定局(有効測定局)の年平均値を示す。

下図の○は環境基準を達成した測定局、■は未達成局を示している。東京湾臨海部で環境基準未達成局がみられる。(環境基準はp.4、p.5参照)

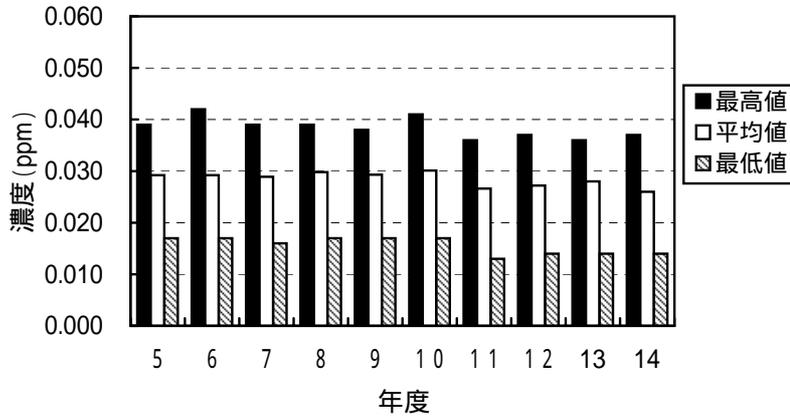


## 1.2 NO<sub>2</sub>濃度の推移(年平均値)

### (1) 一般環境大気測定局

各一般環境大気測定局におけるNO<sub>2</sub>の年平均値から求めた全局の平均値、最高値、最低値を図及び表に示す。

年平均値は、この10年間ではやや低下傾向がみられる。

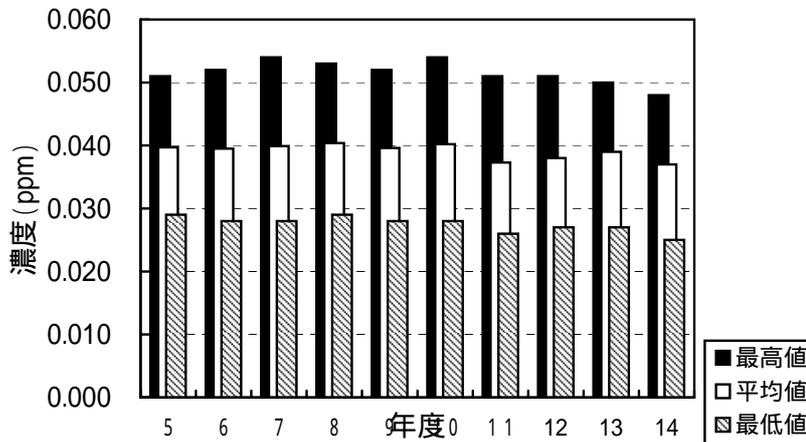


年度	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
最高値(ppm)	0.039	0.042	0.039	0.039	0.038	0.041	0.036	0.037	0.036	0.037
最低値(ppm)	0.017	0.017	0.016	0.017	0.017	0.017	0.013	0.014	0.014	0.014
平均値(ppm)	0.029	0.029	0.029	0.030	0.029	0.030	0.027	0.027	0.028	0.026
測定局数	52	52	54	54	55	57	57	57	57	60

### (2) 自動車排出ガス測定局

各自動車排出ガス測定局におけるNO<sub>2</sub>の年平均値から求めた全局の平均値、最高値、最低値を図及び表に示す。

年平均値は、一般環境大気測定局同様、この10年間ではやや低下傾向がみられる。

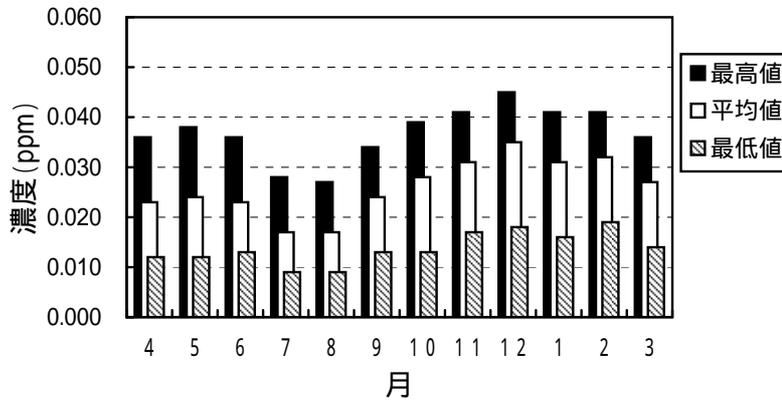


年度	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
最高値(ppm)	0.051	0.052	0.054	0.053	0.052	0.054	0.051	0.051	0.050	0.048
最低値(ppm)	0.029	0.028	0.028	0.029	0.028	0.028	0.026	0.027	0.027	0.025
平均値(ppm)	0.040	0.040	0.040	0.040	0.040	0.040	0.037	0.038	0.039	0.037
測定局数	27	29	29	29	30	30	30	30	30	31

### 1.3 NO<sub>2</sub>の月別濃度(月平均値)

#### (1) 一般環境大気測定局

各一般環境大気測定局におけるNO<sub>2</sub>の月平均値から求めた全局の平均値、最高値、最低値を図及び表に示す。

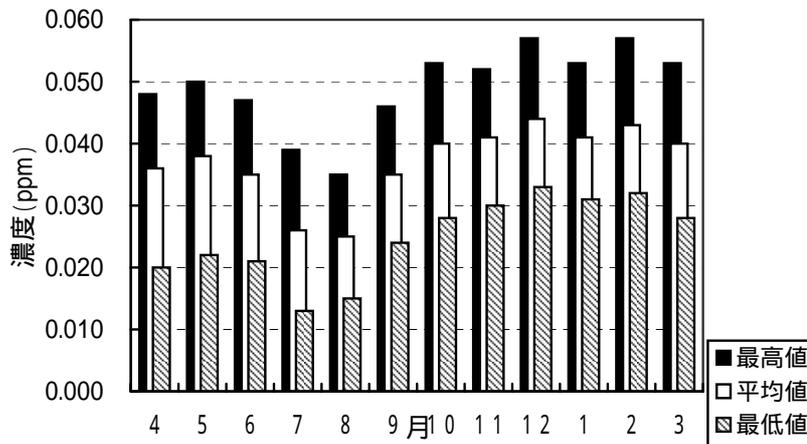


月平均値は、大気の安定する冬季に高くなる傾向があるが、NO程の季節的な差はみられない。これは、発生源から排出されたNOが大気中のO<sub>3</sub>と反応してNO<sub>2</sub>となるため、光化学反応の活発な夏期にNO<sub>x</sub>中のNO<sub>2</sub>の割合が多くなり、逆に冬季ではNOがNO<sub>2</sub>になる酸化力が少ないためである。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
最高値(ppm)	0.036	0.038	0.036	0.028	0.027	0.034	0.039	0.041	0.045	0.041	0.041	0.036
最低値(ppm)	0.012	0.012	0.013	0.009	0.009	0.013	0.013	0.017	0.018	0.016	0.019	0.014
平均値(ppm)	0.023	0.024	0.023	0.017	0.017	0.024	0.028	0.031	0.035	0.031	0.032	0.027

#### (2) 自動車排出ガス測定局

各自動車排出ガス測定局におけるNO<sub>2</sub>の月平均値から求めた全局の平均値、最高値、最低値を図及び表に示す。

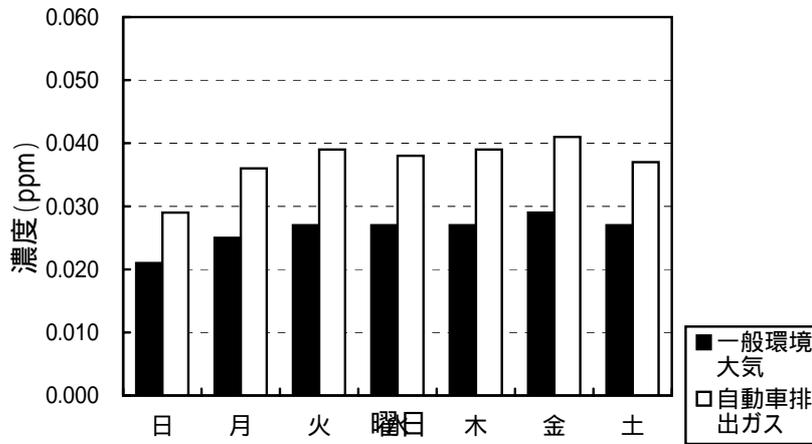


一般環境大気測定局に比較して、高濃度で推移しているが傾向は類似している。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
最高値(ppm)	0.048	0.050	0.047	0.039	0.035	0.046	0.053	0.052	0.057	0.053	0.057	0.053
最低値(ppm)	0.020	0.022	0.021	0.013	0.015	0.024	0.028	0.030	0.033	0.031	0.032	0.028
平均値(ppm)	0.036	0.038	0.035	0.026	0.025	0.035	0.040	0.041	0.044	0.041	0.043	0.040

### 1.4 NO<sub>2</sub>の曜日別濃度(年平均値)

NO<sub>2</sub>濃度の年間測定結果から曜日別に求めた一般環境大気測定局、自動車排出ガス測定局のそれぞれの全局の平均値を図及び表に示す。

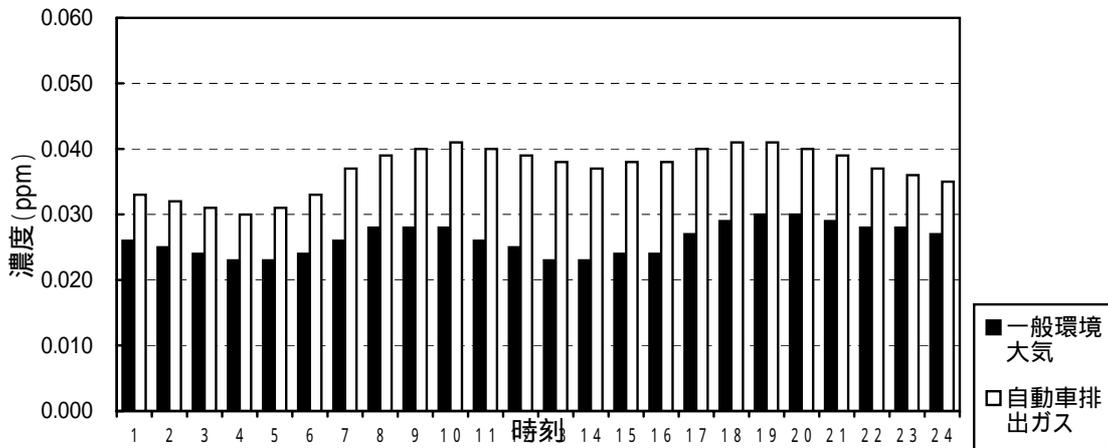


自動車走行量等の減少する日曜日に濃度が低くなっている。

曜日	日	月	火	水	木	金	土
一般環境大気 (ppm)	0.021	0.025	0.027	0.027	0.027	0.029	0.027
自動車排出ガス (ppm)	0.029	0.036	0.039	0.038	0.039	0.041	0.037

### 1.5 NO<sub>2</sub>の時刻別濃度(年平均値)

NO<sub>2</sub>濃度の年間測定結果から時刻別に求めた一般環境大気測定局、自動車排出ガス測定局全局の平均値を図及び表に示す。



時刻	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
一般環境大気 (ppm)	0.026	0.025	0.024	0.023	0.023	0.024	0.026	0.028	0.028	0.028	0.026	0.025
自動車排出ガス (ppm)	0.033	0.032	0.031	0.030	0.031	0.033	0.037	0.039	0.040	0.041	0.040	0.039

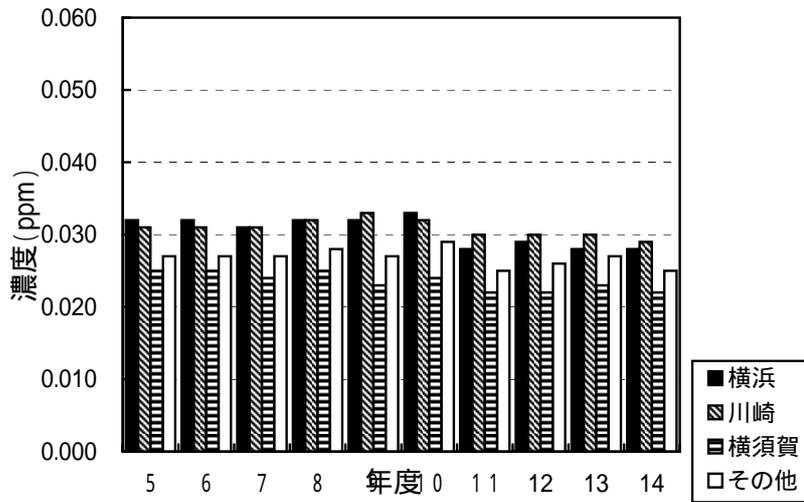
  

時刻	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
一般環境大気 (ppm)	0.023	0.023	0.024	0.024	0.027	0.029	0.030	0.030	0.029	0.028	0.028	0.027
自動車排出ガス (ppm)	0.038	0.037	0.038	0.038	0.040	0.041	0.041	0.040	0.039	0.037	0.036	0.035

大気が安定で交通量や生産活動の活発な朝方や夕方以降に濃度が高い。昼間は窒素酸化物の排出量が多いが、大気が不安定で混合層高度も高くなるため濃度は低くなっている。

### 1.6 NO<sub>2</sub>の地域別濃度(年平均値)

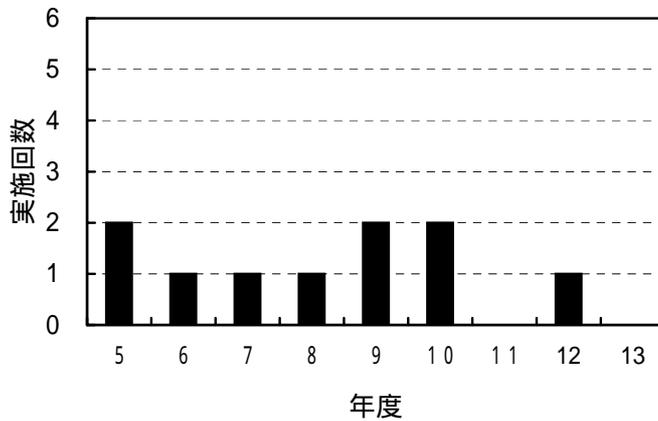
一般環境大気測定局のNO<sub>2</sub>濃度の地域別年平均値を図及び表に示す。



地域別にみた年平均値は、横浜・川崎地域が高い傾向が続いている。しかし、平成5年度と平成14年度を比較すると、その減少率は横浜で大きく、川崎、横須賀、その他の地域の順で小さくなっている。これは郊外における交通量の増加が横浜地域に比べ多くなっていることや東京湾臨海部での重油使用量の減少によるものと推測される。

年度	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
横浜(ppm)	0.032	0.032	0.031	0.032	0.032	0.033	0.028	0.029	0.028	0.028
川崎(ppm)	0.031	0.031	0.031	0.032	0.033	0.032	0.030	0.030	0.030	0.029
横須賀(ppm)	0.025	0.025	0.024	0.025	0.023	0.024	0.022	0.022	0.023	0.022
その他(ppm)	0.027	0.027	0.027	0.028	0.027	0.029	0.025	0.026	0.027	0.025

### 1.7 窒素酸化物の排出量削減措置要請実施回数の推移



県では、11月から翌年の1月の3ヶ月間、大気が安定し窒素酸化物濃度が高くなることが予想される場合に「二酸化窒素高濃度時における窒素酸化物排出量削減措置実施要領」に基づき横浜市、川崎市及び横須賀市内の主要ばい煙排出者に対し、窒素酸化物の削減要請を行っているが、平成5年度以降0～2回で推移している。

本要領は、昭和63年度から実施されたが、主要工場の窒素酸化物排出施設における燃料転換等で通常対策が進んだことや近年は二酸化窒素の高濃度が少なくなったことから、13年度をもって廃止した。

年度	5	6	7	8	9	10	11	12	13
実施回数	2	1	1	1	2	2	0	1	0

### 1.8 NO<sub>2</sub>濃度の測定局順位(日平均値の年間98%値)

各測定局における日平均値の年間98%値(環境基準の評価濃度)の順位を次に示す。

#### 一般環境大気測定局

順位	局名	98%値 (ppm)	前3年度順位		
			13	12	11
1	神奈川県庁	0.063	1	2	6
1	中区加曽台	0.063	3	2	4
3	川崎市公営監視C	0.062	4	9	6
4	田島健康ランチ	0.061	7	6	10
5	大師健康ランチ	0.060	7	2	9
6	幸保健所	0.058	9	11	6
7	港北区総合庁舎	0.057	9	6	4
8	中原保健所	0.056	12	15	12
9	鶴見区潮田交流プラザ	0.055	1	1	10
10	横須賀市追浜行政C	0.054	15	23	19
11	生活文化会館(高津区)	0.053	13	15	13
11	栄区犬山小学校	0.053	25	18	16
13	都筑区総合庁舎	0.052	13	15	19
13	神奈川区総合庁舎	0.052	19	1	1
15	西区平沼小学校	0.051	4	6	3
15	磯子区総合庁舎	0.051	19	9	2
15	大和市役所	0.051	19	18	25
15	鶴見区生麦小学校	0.051	19	21	22
15	青葉区総合庁舎	0.051	19	23	25
20	綾瀬市役所	0.050	16	13	25
20	宮前区鷺沼プール	0.050	16	21	17
20	茅ヶ崎市役所	0.050	25	23	25
20	厚木市役所	0.050	25	30	42
20	南区横浜商業高校	0.050	30	23	19
20	横須賀市衣笠行政C	0.050	35	30	17
26	平塚市役所	0.049	25	23	35
26	旭区鶴ヶ峯小学校	0.049	49	47	42
26	平塚市神田小学校	0.049	—	—	—
29	横須賀市久里浜行政C	0.048	25	35	32
29	藤沢市湘南台文化C	0.048	33	35	32
29	逗子市役所	0.048	37	23	35
29	海老名市役所	0.048	37	39	39
29	中区本牧	0.048	41	12	25
34	横須賀市役所	0.047	4	18	13
34	登戸小学校	0.047	30	35	22
34	藤沢市役所	0.047	33	39	32
34	緑区三保小学校	0.047	35	30	42
38	座間市役所	0.046	16	30	47
38	秦野市役所	0.046	41	39	42
38	横須賀市西行政C	0.046	43	30	25
41	保土ヶ谷区桜丘高校	0.045	9	13	15
41	泉区総合庁舎	0.045	19	23	22
41	鎌倉市役所	0.045	30	39	39
41	港南区野庭中学校	0.045	37	47	47
41	戸塚区汲沢小学校	0.045	49	53	47
46	金沢区長浜	0.044	45	35	25
46	瀬谷区南瀬谷小学校	0.044	52	51	47
48	相模原市相模台	0.043	37	44	39
48	伊勢原市役所	0.043	45	47	53
48	相模原市橋本	0.043	48	47	51
51	相模原市役所	0.042	49	51	42
52	三浦市三崎中学校	0.041	43	46	51
52	藤沢市御所見小学校	0.041	45	39	35
54	麻生区弘法松公園	0.039	52	44	35
54	平塚市旭小学校	0.039	—	—	—
56	愛川町角田	0.036	54	55	56
57	小田原市役所	0.035	55	55	55
57	津久井町中野	0.035	56	54	54
59	相模原市田名	0.033	—	—	—
60	南足柄市生駒	0.026	57	57	57

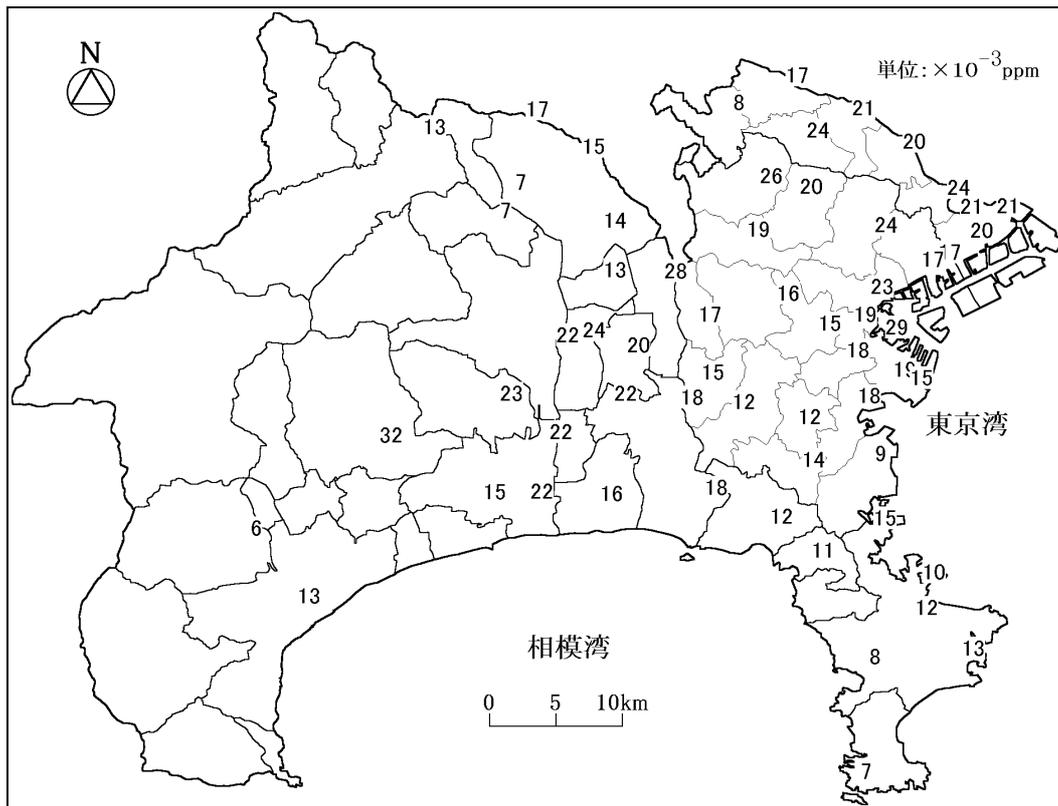
#### 自動車排出ガス測定局

順位	局名	98%値 (ppm)	前3年度順位		
			13	12	11
1	幸区遠藤町交差点	0.075	2	1	6
2	西区浅間下交差点	0.074	2	3	2
3	磯子区滝頭	0.072	6	3	4
4	高津区二子	0.071	4	3	3
4	相模原市淵野辺	0.071	5	8	8
4	川崎市庁舎前	0.071	7	3	10
7	川崎区池上新田公園	0.070	1	2	1
8	鶴見区下末吉小学校	0.068	8	3	4
9	川崎区新川通り	0.064	9	8	8
10	青葉台	0.062	10	11	6
10	旭区都岡小学校	0.062	11	10	10
10	厚木市金田	0.062	14	12	20
13	宮前平駅前	0.060	11	22	20
14	中原平和公園	0.059	11	14	13
14	港南中学校	0.059	15	12	10
14	伊勢原市谷戸岡	0.059	17	16	17
14	横須賀市小川町	0.059	17	19	14
14	相模原市上溝	0.059	20	15	14
19	平塚市松原	0.058	22	19	18
20	国設厚木	0.057	—	—	—
21	秦野市本町	0.056	15	16	20
22	多摩区本村橋	0.055	17	16	16
23	環境都筑工場前	0.052	21	22	18
23	大和市深見台	0.052	22	21	23
25	新逗子駅前	0.050	27	26	27
25	戸塚区矢沢交差点	0.050	29	29	28
27	茅ヶ崎駅前交差点	0.049	27	26	29
28	藤沢橋	0.048	25	22	23
28	鎌倉市滑川	0.048	26	26	26
30	麻生区柿生	0.047	24	25	25
30	小田原市民会館	0.047	29	30	30

順位表示の白抜き文字は環境基準の評価濃度を超過していたことを示している。

印をつけた測定局は、二酸化窒素に係わる県環境目標値である“年平均値が0.02ppm以下”を達成した測定局である。

1.9 NO濃度の地域分布 (年平均値)



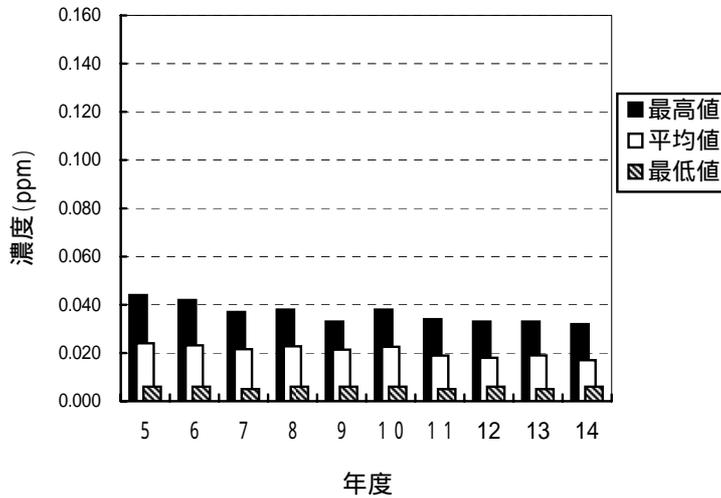
数値は、一般環境大気測定局におけるNOの測定時間が年間 6000 時間以上ある測定局 (有効測定局) の年平均値を示す。

NO濃度が比較的に高いのは、横浜、川崎などの京浜工業地帯及びその周辺や湘南、県央部である。一方、三浦半島や県南西部にかけては低濃度になっている。

### 1.10 NO濃度の推移(年平均値)

#### (1) 一般環境大気測定局

各一般環境大気測定局におけるNOの年平均値から求めた全局の平均値、最高値、最低値を図及び表に示す。

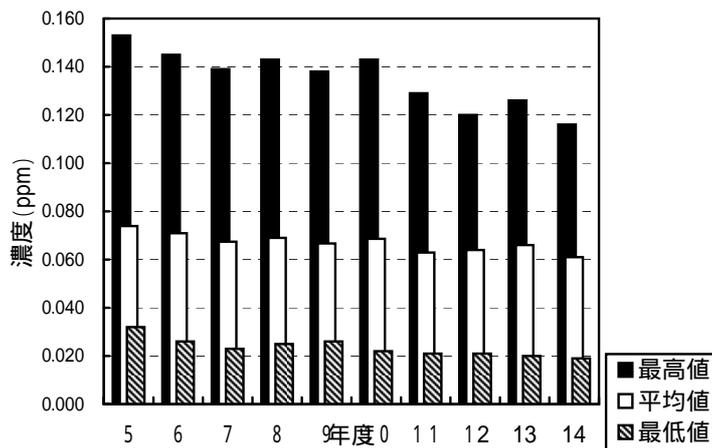


年平均値及び最高値の年推移は低下しており、最低値の年推移は横ばいの状況にある。

年度	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
最高値(ppm)	0.044	0.042	0.037	0.038	0.033	0.038	0.034	0.033	0.033	0.032
最低値(ppm)	0.006	0.006	0.005	0.006	0.006	0.006	0.005	0.006	0.005	0.006
平均値(ppm)	0.024	0.023	0.022	0.023	0.021	0.023	0.019	0.018	0.019	0.017
測定局数	52	52	54	54	55	57	57	57	57	60

#### (2) 自動車排出ガス測定局

各自動車排出ガス測定局におけるNOの年平均値から求めた全局の平均値、最高値、最低値を図及び表に示す。



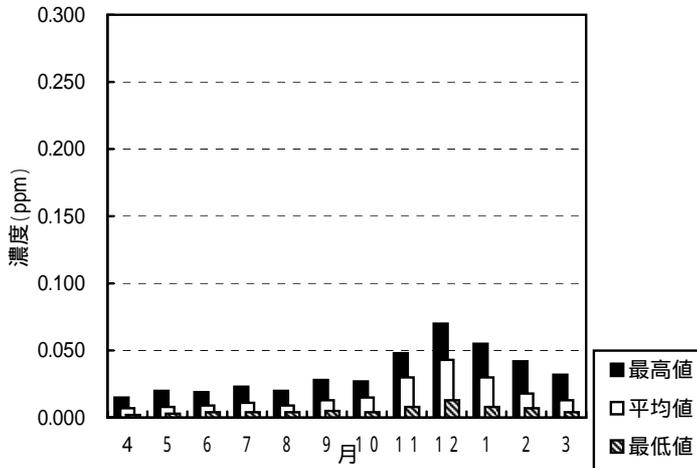
長期的な濃度の推移は一般環境測定局と類似しているが、最高値、最低値、平均値ともに低下している。

年度	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
最高値(ppm)	0.153	0.145	0.139	0.143	0.138	0.143	0.129	0.120	0.126	0.116
最低値(ppm)	0.032	0.026	0.023	0.025	0.026	0.022	0.021	0.021	0.020	0.019
平均値(ppm)	0.074	0.071	0.067	0.069	0.067	0.069	0.063	0.064	0.066	0.061
測定局数	27	29	29	29	30	30	30	30	30	31

### 1.11 NOの月別濃度(月平均値)

#### (1) 一般環境大気測定局

各一般環境大気測定局におけるNOの月平均値から求めた全局の平均値、最高値、最低値を図及び表に示す。

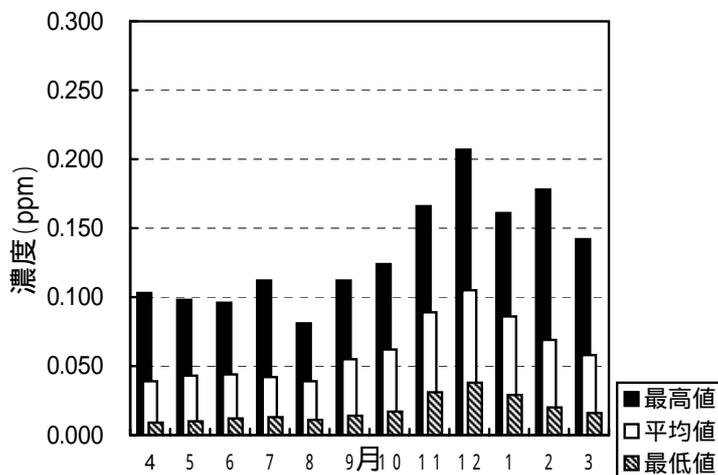


大気の安定する冬季に高濃度となる傾向にある。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
最高値(ppm)	0.015	0.020	0.019	0.023	0.020	0.028	0.027	0.048	0.070	0.055	0.042	0.032
最低値(ppm)	0.002	0.003	0.004	0.004	0.004	0.005	0.004	0.008	0.013	0.008	0.007	0.004
平均値(ppm)	0.007	0.008	0.009	0.011	0.009	0.013	0.015	0.030	0.043	0.030	0.018	0.013

#### (2) 自動車排出ガス測定局

各自動車排出ガス測定局におけるNOの月平均値から求めた全局の平均値、最高値、最低値を図及び表に示す。

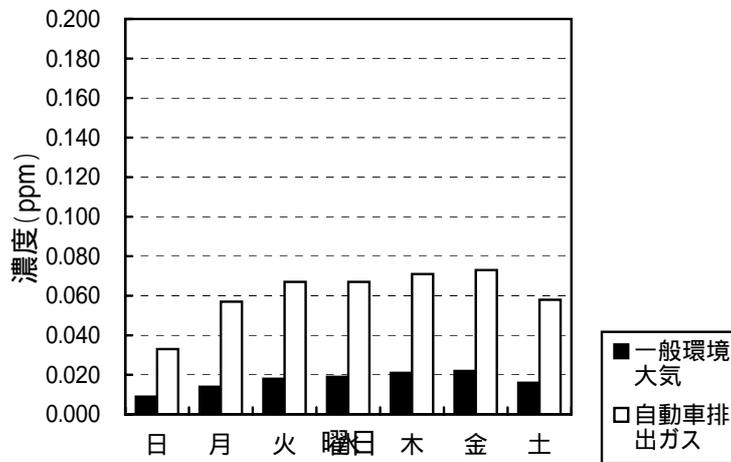


一般環境大気測定局と同様、大気の安定する冬季に高濃度になる傾向にある。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
最高値(ppm)	0.103	0.098	0.096	0.112	0.081	0.112	0.124	0.166	0.207	0.161	0.178	0.142
最低値(ppm)	0.009	0.010	0.012	0.013	0.011	0.014	0.017	0.031	0.038	0.029	0.020	0.016
平均値(ppm)	0.039	0.043	0.044	0.042	0.039	0.055	0.062	0.089	0.105	0.086	0.069	0.058

### 1.12 NOの曜日別濃度(年平均値)

NO濃度の年間測定結果から曜日別に求めた一般環境大気測定局、自動車排出ガス測定局のそれぞれの全局の平均値を図及び表に示す。

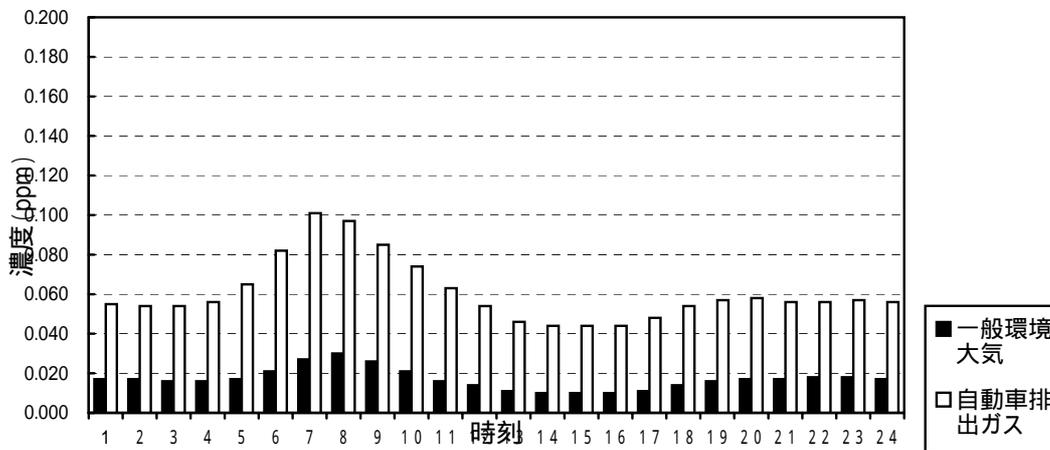


一般環境大気測定局、自動車排出ガス測定局ともに、交通量の少ない日曜日は他の曜日に比べて濃度が低くなっている。

曜日	日	月	火	水	木	金	土
一般環境大気 (ppm)	0.009	0.014	0.018	0.019	0.021	0.022	0.016
自動車排出ガス (ppm)	0.033	0.057	0.067	0.067	0.071	0.073	0.058

### 1.13 NOの時刻別濃度(年平均値)

NO濃度の年間測定結果から時刻別に求めた一般環境大気測定局、自動車排出ガス測定局のそれぞれについて全局の平均値を図及び表に示す。



時刻	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
一般環境大気 (ppm)	0.017	0.017	0.016	0.016	0.017	0.021	0.027	0.030	0.026	0.021	0.016	0.014
自動車排出ガス (ppm)	0.055	0.054	0.054	0.056	0.065	0.082	0.101	0.097	0.085	0.074	0.063	0.054
時刻	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
一般環境大気 (ppm)	0.011	0.010	0.010	0.010	0.011	0.014	0.016	0.017	0.017	0.018	0.018	0.017
自動車排出ガス (ppm)	0.046	0.044	0.044	0.044	0.048	0.054	0.057	0.058	0.056	0.056	0.057	0.056

章1.5 NO<sub>2</sub>同様、朝方と夕方以降に高くなっているが、NO<sub>2</sub>に比べ朝方のピークが夕方に比べかなり高くなっている。またNO<sub>2</sub>は9～11時に高くなっているが、NOは7時、8時に高濃度となっている。これは自動車からの排出がNOであり、大気中でNO<sub>2</sub>に酸化されるためである。

1.14 NO濃度の測定局順位(年平均値)

一般環境大気測定局

順位	局名	年平均値 (ppm)	前3年度順位		
			13	12	11
1	秦野市役所	0.032	1	1	1
2	神奈川県庁	0.029	3	2	2
3	大和市役所	0.028	2	4	2
4	青葉区総合庁舎	0.026	4	5	5
5	港北区総合庁舎	0.024	6	7	8
5	海老名市役所	0.024	6	7	11
5	幸保健所	0.024	9	10	11
5	宮前区鷺沼プール	0.024	10	11	8
9	伊勢原市役所	0.023	6	13	11
9	神奈川区総合庁舎	0.023	10	3	2
11	藤沢市御所見小学校	0.022	10	7	5
11	平塚市役所	0.022	13	13	19
11	厚木市役所	0.022	18	22	22
11	平塚市神田小学校	0.022	-	-	-
15	川崎市公害監視C	0.021	13	16	22
15	生活文化会館(高津区)	0.021	13	16	14
15	大師健康ランチ	0.021	18	22	22
18	田島健康ランチ	0.020	13	16	14
18	中原保健所	0.020	18	16	14
18	綾瀬市役所	0.020	18	16	14
18	都筑区総合庁舎	0.020	18	22	19
22	西区平沼小学校	0.019	4	5	5
22	中区加曽台	0.019	23	26	32
22	緑区三保小学校	0.019	27	29	29
25	南区横浜商業高校	0.018	23	13	14
25	藤沢市湘南台文化C	0.018	23	26	29
25	磯子区総合庁舎	0.018	27	11	8
25	藤沢市役所	0.018	27	34	35
29	鶴見区潮田交流プラザ	0.017	13	16	19
29	登戸小学校	0.017	23	29	22
29	瀬谷区南瀬谷小学校	0.017	33	36	35
29	鶴見区生麦小学校	0.017	34	34	37
29	相模原市橋本	0.017	36	29	32
34	茅ヶ崎市役所	0.016	34	32	32
34	旭区鶴ヶ峯小学校	0.016	41	36	37
36	保土ヶ谷区桜丘高校	0.015	27	25	22
36	泉区総合庁舎	0.015	27	32	29
36	横須賀市追浜行政C	0.015	37	36	40
36	相模原市役所	0.015	40	36	37
36	中区本牧	0.015	48	48	51
36	平塚市旭小学校	0.015	-	-	-
42	相模原市相模台	0.014	27	26	27
42	栄区犬山小学校	0.014	41	42	42
44	横須賀市久里浜行政C	0.013	37	44	42
44	津久井町中野	0.013	41	36	42
44	座間市役所	0.013	41	44	45
44	小田原市役所	0.013	46	44	46
48	横須賀市衣笠行政C	0.012	41	48	27
48	鎌倉市役所	0.012	47	44	46
48	戸塚区汲沢小学校	0.012	48	48	51
48	港南区野庭中学校	0.012	48	53	53
52	逗子市役所	0.011	51	48	46
53	横須賀市役所	0.010	37	36	40
54	金沢区長浜	0.009	53	48	46
55	横須賀市西行政C	0.008	52	53	55
55	麻生区弘法松公園	0.008	53	42	46
57	三崎中学校	0.007	55	55	53
57	愛川町角田	0.007	56	56	56
57	相模原市田名	0.007	-	-	-
60	南足柄市生駒	0.006	57	57	57

自動車排出ガス測定局

順位	局名	年平均値 (ppm)	前3年度順位		
			13	12	11
1	西区浅間下交差点	0.116	1	1	1
1	厚木市金田	0.116	2	3	3
3	伊勢原市谷戸岡	0.101	5	5	4
3	高津区二子	0.101	6	6	5
5	幸区遠藤町交差点	0.100	3	4	15
6	相模原市淵野辺	0.096	7	8	7
7	川崎区池上新田公園	0.090	4	2	2
8	磯子区滝頭	0.082	9	7	6
9	秦野市本町	0.080	8	9	8
10	国設厚木	0.078	-	-	-
11	宮前平駅前	0.070	10	24	24
12	旭区都岡小学校	0.068	11	10	9
12	青葉台	0.068	12	11	10
14	相模原市上溝	0.065	13	12	11
15	平塚市松原	0.057	17	19	17
16	鶴見区下末吉小学校	0.055	15	14	16
17	川崎区新川通り	0.051	14	13	12
18	横須賀市小川町	0.050	19	17	19
19	川崎市庁舎前	0.048	20	20	21
20	大和市深見台	0.046	18	17	17
21	多摩区本村橋	0.045	16	14	12
22	麻生区柿生	0.042	21	16	14
23	港南中学校	0.037	23	22	20
24	環境都筑工場前	0.036	22	21	22
25	中原平和公園	0.034	24	23	23
26	戸塚区矢沢交差点	0.033	26	27	26
27	小田原市民会館	0.031	26	24	27
28	藤沢橋	0.029	25	26	25
29	新逗子駅前	0.024	28	28	28
30	茅ヶ崎駅前交差点	0.020	29	30	29
31	鎌倉市滑川	0.019	30	29	30